

ホークスの主砲といえば門田よりあぶさんより  
「あの人」でしょう!

# 南海ホークス メモリアルギャラリー

By ふちんかん



なんばパークスがあった場所に以前は大阪球場があった。そして大阪球場をフランチャイズにしていた球団が南海ホークスだ。歴史ある OH!WOO!!の誌面にも南海がホークスをダイエーに売却、フランチャイズの移転、そして大阪球場そのものの取り壊しという事件が記録されている。

さて南海がどういう意図で設置したかは定かではないが、ナンバーパークス七階に南海ホークスのギャラリーがある。パネルと VTR、ショーケースによる展示のみのシンプルなものだが、往年の強豪チームを懐かしむファンにとっては聖地のような扱いになっているらしい。けっこう人気があるようだ。ネットで検索してみると出てくる出てくる、ほとんどがノスタルジーの世界だが。



逆にめんだらけを訪れた若い世代にとっては、強いダイエーホークスの前身として、そして関西に近鉄・阪神以外の球団がありリーグを代表する強豪チームだったことなど新鮮な目で見れることだろう。



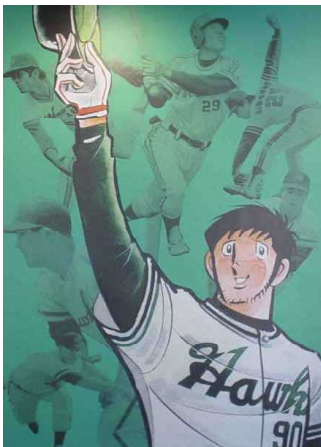
ショーケース内には優勝カップやペナントなどの展示があった。パネルは南海ホークスや大阪球場の歴史、野手・投手・打者別の有名選手の大打パネルである。さすがに昭和三〇年代の選手は名前も知らないが、四〇年代以降となるとリアルで野球に興味を持ちだした頃なので名前はもちろん活躍していたシーンを思い出す選手も多い。香川・山本和・江本・山内三人衆……など。モスグリーンのユニフォームも今見てみるとシンプルで美しい。



ちなみにこの取材の最後に戎橋で大阪知事選に出馬した江本氏と出会った。この人、南海のエースだったんだよなあ。



ところでパネルを見ていて「捕手」という項目がないのに気づいた。あれ？じゃあ南海の黄金時代末期に活躍した「あの」選手は？「打者」？ここにもいない。打者の代表としては（一本足打法の）門田選手がクローズアップされている。「野手」？ここにもいない。どこにも里予木寸の字がない。歴史年表も監督（しかもプレーイングマネージャーだったはず）をしていた時代だけ、監督名が入ってない。各種タイトルをとった選手も紹介されているが三冠王やMVPを取った選手の名前がないのである。これはどうしたことだろう？本人が掲載を許可していないのか、それともプロアマ協定の問題だろうか？



さてダイエーホークスの身売り説が毎年のように出ております。まさか南海が買い戻すとは思えませんが、南海がこのような目立つポジションにギャラリーを設置し、プロパガンダするということは、もしかして……なんていう淡い期待を持ってしまいますな。そんな話になったら……そのときまであぶさんは現役です。もしかしたらプレーイングマネージャー？おもしろい話だと思いませんか？